

生麦中だより

令和2年(2020) 5月 2号

「成熟した職場には笑顔がある。」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

皆さんとの笑顔の再会に向け、職員一同、準備をしています。

感染症拡大の終息を願いながら、

学校で、皆さんを待っています。

生麦中学校 職員一同

「目の前の人に優しさを向けることができる生徒であるために」

校長 山口 毅

皆さん、元気で生活していますか。

感染症拡大防止のための一斉臨時休校が長引いています。今は、未曾有の危機的状況で、皆さんの「命を守ること」を最優先に考えざるを得ません。今は家庭の中で、学年から出題された学習課題に取り組んでください。また、この厳しい学習状況での、保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

3月から2か月間、皆さんと向き合うことができない先生方とは、授業再開時の授業の在り方や学校行事予定等について検討をしているところです。

また、皆さんが家庭学習で取り組んだ課題をどのように学校での学習に結びつけていくかを各学年や各教科で確認をしています。

ニュースや報道では、ネット環境を整え、オンライン授業を行っている映像等を目にします。現時点で、本校は、そのような環境にありますが、校内情報機器を整備し、映像と放送を今まで以上に活用できるようにしました。

学校には、先生がいて生徒(皆さん)がいる。先生と生徒が集い、友だち・仲間がいる。心を通わせ、絆を結び、優しさと厳しさを学び、人として成長する。学校は、単に勉強して、知識を蓄積するだけでなく、人としての「人間力」を培う場だと思えます。

残念ですが、5月に入っても、授業再開を見通すのは、難しい状況です。新型コロナウイルスは、人の身体をむしばむだけでなく、心をも侵していくとかと・私は強く感じています。

安心できない状況が不安を招き、不安が過ぎて、他の人への攻撃に向かう。そして、差別や偏見として、表れてくる。自分に対しての誇りや人間性にも影響を及ぼします。

だからこそ、「優しさ」が大切です。

身近な人、周りの人、目の前の人に「優しさ」を向けてください。

「優しさ」は、「強さ」だと言った先生がいます。その通りです。

家での役割を考え、取り組んでみる。弟さんや妹さんの面倒をみる。学年で出た課題等に結び付け食事をつくる。手紙を書く。こんな「優しさ」を試してみるのはいかがでしょうか。

「優しさ」はやがて自分にかえってきます。

今は、危機的状況です。困っている状況にいる人を直接助けることは難しいかもしれませんが、しかし、どんなに苦しんでいるのかを、思いやることはできると思います。

時間は、たっぷりあります。目の前にいる人に「優しさ」を向ける時間をつくってください。

長い休校で皆さん自身が困ること、相談することがありましたら、学校に連絡をください。

皆さんとの笑顔の再会時に、「強く優しい生徒」であることを楽しみにしています。